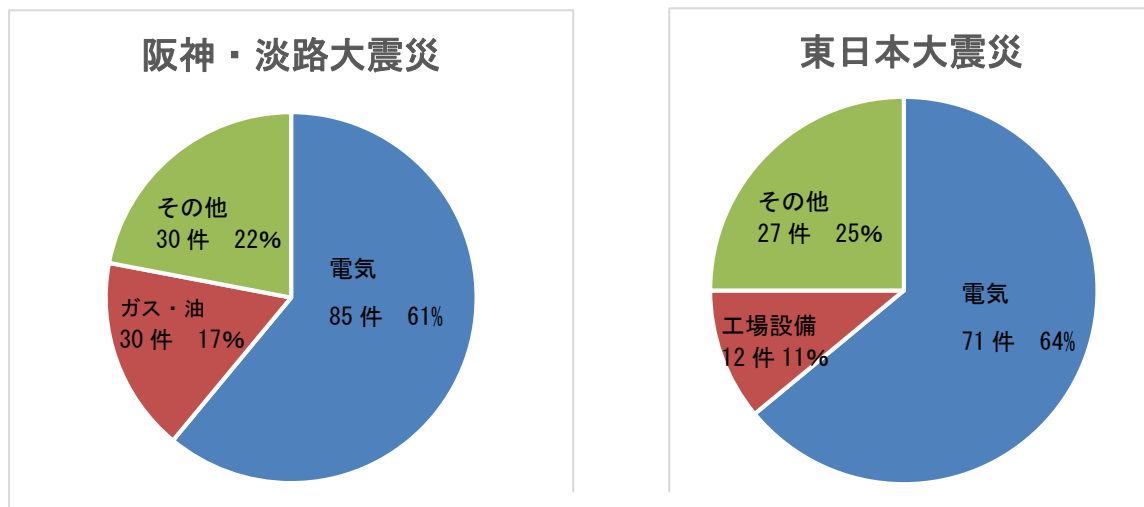


# 地震による

# 電気火災対策を！



阪神淡路大震災や東日本大震災で発生した火災の半数以上が、**電気関係の出火**でした。震災時には広範囲かつ長時間に及ぶ停電が発生するため、停電復旧後の再通電時に出火する、「**通電火災**」に注意が必要です。



※「大規模地震時の電気火災の発生抑制対策の検討と推進について（報告）」  
（平成 27 年 3 月）を基にグラフ作成

## ◎「通電火災」の原因は？

通電火災が発生する原因として、次のようなものが挙げられます。

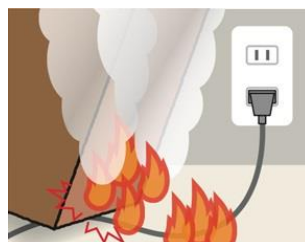
- 停電復旧に伴い地震で散乱した室内で電気ストーブや照明器具に通電し、可燃物に着火し火災になる。
- 地震により電気配線等の被覆や電気機器本体が損傷している状態で通電すると火花が発生することがあります。その火花が、可燃物やガスに引火することで火災になる。

（地震発生直後の火災）



重い物が倒れて、壊れた電気製品から発火

（復電火災）



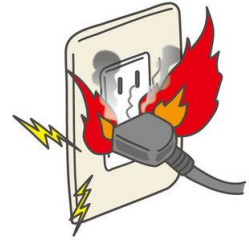
電源コードの被覆が破れて短絡により発火



停電後、電気製品に落下した可燃物から発火

地震が引き起こす電気火災

# 通電火災！



対策として・・・

## 「感震ブレーカー」

が効果的です！



感震ブレーカーとは・・・

感震ブレーカーは、地震を感知すると自動的にブレーカーを落として電気を止めます

### 【感震ブレーカーの種類】

分電盤タイプ（内蔵型）	分電盤タイプ（後付型）	コンセントタイプ	簡易タイプ
			
分電盤に内蔵されたセンサーが揺れを感知し、ブレーカーを落として電気を遮断。	分電盤に感震機能を外付けするタイプで、漏電ブレーカーが設置されている場合に設置可能。	コンセントに内蔵されたセンサーが揺れを感知し、コンセントから電気を遮断。	ばねの作動や重りの落下によりブレーカーを落として、電気を遮断。



感震ブレーカーを設置して電気火災から「家」「地域」を守ろう！！

### 【問い合わせ】

嶺北消防本部 予防課

TEL 0776-51-8435

FAX 0776-51-5209

e-mail [yobou@reihoku-fd.jp](mailto:yobou@reihoku-fd.jp)